

四半期報告書

(第69期第3四半期)

自 平成25年10月1日

至 平成25年12月31日

リバーエレクトック株式会社

山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況

5

第4 経理の状況

6

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

2 その他

14

第二部 提出会社の保証会社等の情報

15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第69期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22－1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22－1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期連結 累計期間	第69期 第3四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	4,394,786	4,392,626	6,208,501
経常利益（千円）	57,020	18,306	134,709
四半期（当期）純利益（千円）	38,408	18,971	112,142
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	35,830	131,480	263,595
純資産額（千円）	2,904,364	3,241,434	3,132,129
総資産額（千円）	9,190,774	8,196,570	8,849,059
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	5.21	2.57	15.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	31.6	39.5	35.4
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	93,159	496,512	320,106
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△893,575	130,313	△1,212,727
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	951,430	△818,997	861,353
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（千円）	845,753	554,464	705,701

回次	第68期 第3四半期連結 会計期間	第69期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純損益金額（△は 損失）（円）	2.19	△8.94

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策を背景に企業収益が改善し、設備投資も改善の兆しが見られるなど緩やかな景気回復基調に推移しました。一方、新興国経済の成長鈍化に対する懸念もあり、引き続き先行き不透明な状態が続いております。

当社グループの主要な市場であります水晶製品業界におきましては、スマートフォン向けは新興国メーカーの台頭により需要旺盛であります。テレビやデジカメ向け等の民生機器向けは、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「超小型水晶デバイス」を軸とした事業展開と業務効率や生産性の向上等の原価低減活動に取り組み、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高4,392,626千円（前年同期比0.0%減）、営業損失99,041千円（前年同期は15,195千円の営業利益）、経常利益18,306千円（前年同期比67.9%減）、四半期純利益18,971千円（同50.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

	前第3四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	前年同期比
売上高	4,322,588千円	4,326,982千円	0.1%
セグメント（経常）利益	53,643千円	22,578千円	△57.9%

水晶製品の売上高は4,326,982千円（前年同期比0.1%増）となりました。スマートフォン等の移動体通信機器向けは前年同期を上回りましたが、パソコン・周辺機器向けやデジタルカメラ向けの需要落ち込みの影響によりほぼ横ばいとなりました。セグメント利益は、円安による為替差益の発生もありましたが、販売価格の下落や減価償却費等の増加もあり22,578千円（前年同期比57.9%減）となりました。

（その他の電子部品事業）

	前第3四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	前年同期比
売上高	72,198千円	65,644千円	△9.1%
セグメント（経常）利益又は損失（△）	3,377千円	△4,271千円	△226.5%

その他の電子部品の売上高は65,644千円（前年同期比9.1%減）となりました。抵抗器の生産縮小及びインダクタの生産終了に伴い、受注数量が大幅に減少したことにより減収となりました。セグメント損失は、減収の影響により4,271千円（前年同期は3,377千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少302,183千円、受取手形及び売掛金の減少429,153千円、商品及び製品の増加346,595千円、建設仮勘定の減少214,485千円等により、前連結会計年度末より652,489千円減少し、8,196,570千円となりました。負債合計は、1年内返済予定の長期借入金の減少296,625千円、長期借入金の減少401,664千円、長期未払金の減少49,165千円等により、前連結会計年度末より761,794千円減少し、4,955,135千円となりました。純資産合計は、為替換算調整勘定の増加102,873千円等により、前連結会計年度末より109,305千円増加し、3,241,434千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ151,237千円減少し、554,464千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は496,512千円（前年同期は93,159千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益29,715千円、減価償却費504,735千円、賞与引当金の増加40,765千円、売上債権の減少502,800千円、たな卸資産の増加469,025千円、仕入債務の減少223,347千円、未払金の増加54,746千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は130,313千円（前年同期は893,575千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出532,220千円、定期預金の払戻による収入715,847千円、有形固定資産の取得による支出64,153千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は818,997千円（前年同期は951,430千円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出698,289千円、長期未払金返済による支出103,174千円、社債の償還による支出20,000千円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、146,625千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数（株） （平成25年12月31日）	提出日現在発行数（株） （平成26年2月14日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 （株）	発行済株式総 数残高 （株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額 （千円）	資本準備金残 高 （千円）
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	—	7,492,652	—	1,070,520	—	957,810

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 121,100	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,369,900	73,699	—
単元未満株式	普通株式 1,652	—	—
発行済株式総数	7,492,652	—	—
総株主の議決権	—	73,699	—

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
リバーエレテック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号	121,100	—	121,100	1.62
計	—	121,100	—	121,100	1.62

（注）上記のほか、当第3四半期会計期間において、単元未満株式の買取請求により、自己株式74株を取得しております。その結果、平成25年12月31日現在の自己株式数は121,222株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,382,842	1,080,658
受取手形及び売掛金	※ 1,696,688	※ 1,267,534
商品及び製品	377,933	724,529
仕掛品	388,420	540,218
原材料及び貯蔵品	735,602	733,278
繰延税金資産	2,384	6,656
その他	210,224	140,024
貸倒引当金	△6,380	△6,648
流動資産合計	4,787,716	4,486,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	483,658	467,127
機械装置及び運搬具（純額）	2,548,116	2,400,448
工具、器具及び備品（純額）	64,739	65,756
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	17,640	13,960
建設仮勘定	241,620	27,134
有形固定資産合計	3,771,204	3,389,855
無形固定資産		
ソフトウェア	3,387	3,552
その他	13,105	11,681
無形固定資産合計	16,492	15,233
投資その他の資産		
投資有価証券	142,269	162,129
破産更生債権等	74,500	82,750
その他	133,627	145,249
貸倒引当金	△76,750	△84,900
投資その他の資産合計	273,646	305,228
固定資産合計	4,061,343	3,710,317
資産合計	8,849,059	8,196,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	794, 512	679, 390
1年内償還予定の社債	40, 000	40, 000
短期借入金	1, 094, 359	1, 123, 762
1年内返済予定の長期借入金	922, 381	625, 756
未払法人税等	12, 628	3, 244
賞与引当金	39, 486	80, 251
設備関係支払手形	75, 961	63, 975
その他	358, 442	414, 743
流動負債合計	3, 337, 772	3, 031, 124
固定負債		
社債	160, 000	140, 000
長期借入金	1, 665, 123	1, 263, 459
繰延税金負債	3, 596	8, 789
退職給付引当金	212, 188	216, 810
役員退職慰労引当金	97, 650	107, 290
長期末払金	227, 891	178, 726
その他	12, 707	8, 936
固定負債合計	2, 379, 157	1, 924, 011
負債合計	5, 716, 930	4, 955, 135
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 070, 520	1, 070, 520
資本剰余金	957, 810	957, 810
利益剰余金	1, 374, 255	1, 371, 112
自己株式	△17, 779	△17, 841
株主資本合計	3, 384, 806	3, 381, 601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6, 015	15, 651
為替換算調整勘定	△258, 692	△155, 818
その他の包括利益累計額合計	△252, 676	△140, 166
純資産合計	3, 132, 129	3, 241, 434
負債純資産合計	8, 849, 059	8, 196, 570

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,394,786	4,392,626
売上原価	3,409,829	3,494,844
売上総利益	984,957	897,782
販売費及び一般管理費	969,762	996,823
営業利益又は営業損失(△)	15,195	△99,041
営業外収益		
受取利息	1,390	1,310
受取配当金	2,472	2,555
為替差益	47,935	135,715
その他	19,467	7,429
営業外収益合計	71,265	147,011
営業外費用		
支払利息	27,040	22,580
社債利息	—	598
その他	2,400	6,484
営業外費用合計	29,440	29,663
経常利益	57,020	18,306
特別利益		
固定資産売却益	175	—
受取保険金	—	11,989
特別利益合計	175	11,989
特別損失		
固定資産売却損	24	282
固定資産除却損	467	298
退職特別加算金	125	—
特別損失合計	617	581
税金等調整前四半期純利益	56,579	29,715
法人税、住民税及び事業税	17,452	15,016
法人税等調整額	718	△4,271
法人税等合計	18,170	10,744
少数株主損益調整前四半期純利益	38,408	18,971
四半期純利益	38,408	18,971

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,408	18,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,510	9,636
為替換算調整勘定	21,932	102,873
その他の包括利益合計	△2,578	112,509
四半期包括利益	35,830	131,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,830	131,480

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	56,579	29,715
減価償却費	469,648	504,735
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	160	△348
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,348	40,765
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,914	4,621
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△34,740	9,640
受取利息及び受取配当金	△3,863	△3,866
支払利息	27,040	23,179
為替差損益 (△は益)	△37	△93
有形固定資産売却損益 (△は益)	△151	282
有形固定資産除却損	467	298
売上債権の増減額 (△は増加)	5,395	502,800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△582,068	△469,025
仕入債務の増減額 (△は減少)	155,157	△223,347
未収入金の増減額 (△は増加)	30,915	24,926
未払金の増減額 (△は減少)	3,944	54,746
その他	△15,685	40,813
小計	126,024	539,844
利息及び配当金の受取額	3,647	4,033
利息の支払額	△26,425	△22,573
法人税等の支払額	△10,087	△24,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,159	496,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△493,608	△532,220
定期預金の払戻による収入	493,141	715,847
有形固定資産の取得による支出	△886,089	△64,153
有形固定資産の売却による収入	630	16,462
無形固定資産の取得による支出	△2,712	△226
投資有価証券の取得による支出	△4,913	△5,034
その他	△24	△362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△893,575	130,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	508,231	26,408
長期借入れによる収入	1,100,253	—
長期借入金の返済による支出	△584,830	△698,289
長期末払金の返済による支出	△46,663	△103,174
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△13	△61
配当金の支払額	△22,114	△19,841
リース債務の返済による支出	△3,431	△4,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	951,430	△818,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,191	40,934
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	155,206	△151,237
現金及び現金同等物の期首残高	690,546	705,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 845,753	※ 554,464

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	3,766千円	5,564千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	1,494,070千円	1,080,658千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△648,317	△526,194
現金及び現金同等物	845,753	554,464

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	14,743	2.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	7,371	1.0	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743	2.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	7,371	1.0	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,322,588	72,198	4,394,786	4,394,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,322,588	72,198	4,394,786	4,394,786
セグメント利益	53,643	3,377	57,020	57,020

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	57,020
四半期連結損益計算書の経常利益	57,020

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,326,982	65,644	4,392,626	4,392,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,326,982	65,644	4,392,626	4,392,626
セグメント利益又は損失（△）	22,578	△4,271	18,306	18,306

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	18,306
四半期連結損益計算書の経常利益	18,306

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	5円21銭	2円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	38,408	18,971
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	38,408	18,971
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,371,518	7,371,491

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年11月 8 日開催の取締役会において当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………7,371千円

(ロ) 1 株当たりの金額……………1 円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成25年12月 9 日

(注) 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2 月14日

リバーエレテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩渕 道男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 諏訪部 修 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 天野 清彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注） 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役若尾富士男は、当社の第69期第3四半期（自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。